

## 有珠山噴火避難 訓練のお知らせ

- 実施日** 10月22日(土)  
9時から13時まで(予定)
- 内 容** 情報伝達訓練(防災行政無線、緊急速報メール、広報車など)  
自家用車による避難訓練(自宅～指定避難所)  
バスによる避難訓練(自宅～一時集合場所～指定避難所)
- 研修会** テーマ「これからの有珠山噴火に備えて・・・減災を勝ち取るのは一人一人の力」  
講師：岡田 弘氏(北海道大学名誉教授)
- その他** 詳細については、今月の回覧をご覧ください。



「私自身有珠山噴火を2回経験し、その経験や泉区が地域として有珠山に近いこともあり、何かあれば逃げなければならぬ地域として体制を整えなければならない、地域独自の防災について考えました。函館や日高など先進地の視察など準備に2年間ほどかかりましたが、今年4月1日に

自助、共助、公助と言いますが、地域では、自助と共助が特に重要になってきます。これからは、消火訓練や講話などの催しなど行い、住民の皆さんの防災意識を高め、安全で、安心して住めるまちにしていきたいものです」



泉区自治会会長 山浦和好さん

総会で地域の自主防災組織を立ち上げました。

現在自治会が毎月1回発行している「泉だより」や季刊発行している「泉区防災だより」を通して、住民の皆さんに、いろいろな情報を周知しています。

## 日常から準備をしておきましょう！

いざというとき、すぐに持ち出せるよう日頃から準備をしておきましょう。

主な非常用品の記載をしています。このほかにも、家族構成や環境によって必要となるものがあります。



**安全具**  
ヘルメットなどの保安帽



**非常用食品**  
水、乾パン、缶詰、インスタント食品など



**貴重品**  
現金、預金通帳、印鑑、キャッシュカード、有価証券など



**救急、衛生用品**  
消毒液、傷薬、目薬、胃腸薬、鎮痛解熱剤、生理用品、絆創膏、包帯、石鹸など



**保険証**



**老人、身体の不自由な方に**  
おぶりひも、常備薬、おむつなど



**赤ちゃんのために**  
粉ミルク、ほ乳瓶、おむつなど



**病院からの  
服用薬**



**道具類**  
缶切り、柱抜き、ナイフ、割り箸、ロープ、ビニールシートなど



**衣類**  
下着、タオル、軍手など



**学校の教材など**  
学校(小・中・高)関係教材など



**ペットの対応**  
餌、飲用水、リード、名札など



**その他**  
FM付ラジオ、懐中電灯、ろうそく、乾電池、マッチなど

■ 問合せ 企画防災課防災グループ (☎74-3004)